

それぞれの「絆」を壁面に

町内小中学生壁画大会開催

11年目を迎えた「町内小中学生壁画大会」が、くまもと教育の日関連事業として11月20日、秋津川左岸歩道壁面で行われました。

今回のテーマは「絆」。町内の6年生約300人と中学生30人が秋晴れのもと、制作に挑みました。

1枚が約2m四方、全長100mにも及ぶ壁面は、まさに自然の



それぞれの「絆」を描く子どもたち

画用紙。「ここは何色だったけ?」「手がペンキだらけく」などと歓声を上げながら、友達や家族、学校生活の思い出などそれぞれが大切にしていきたい「絆」を色鮮やかに描きました。大会は、町P連役員が強力にバックアップ。二水会や益城絵画クラブ、ソレイユ益城のみなさんが絵のサポート役として協力しました。



各校の力作が並ぶ壁面



出来上がった作品の前で記念撮影

元気に「ぺったん、ぺったん」

第5保育所で年末恒例のもちつき

12月15日、町立第5保育所(山田千代子所長、81人)で、園児たちが年末恒例の「もちつき」を行いました。

蒸しあがったもち米が白に移されると、園児たちは「よいしょ、よいしょ」の掛け声とともに元気いっぱいいきねを振り、もちがつきあがると、手や顔を白くしながら丸めていました。

もちつきが終ると、待ちに待った試食。砂糖醤油をつけたり、そのまま食べたりにして、「おいしく



「ころう君」ともちつきを楽しみました



つきあがったもちを丸める子どもたち

い「すぐくのびる」と歓声を上げ、あつあつのもちに舌鼓を打っていました。

この日は、鞠智城のイメージキャラクター「さきもりころう君」がキャラバン隊とともに来園。園児と一緒にもちつきを楽しみ、体操やクイズをとおして鞠智城のPR活動を行いました。